



# ラミネートフローリング クロノテックス 置敷き施工マニュアル

## 取扱説明書

### 免責事項

本書の記載内容を遵守しなかったことで生じた損害(不具合、逸失利益等)及び、これにより生じた二次的な損害は、当社として一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

### 目次

- P1 —— クリック工法での注意・禁止事項  
施工チェックチャート
- P2 —— 施工手順 STEP1 部材の寸法を確認
- P3 —— クリアランス関連部材1
- P4 —— クリアランス関連部材2
- P5 —— STEP2 下地状況の確認  
STEP3 不陸調整シート敷き込み
- P6 —— STEP4 スペーサーの設置

- P7 —— STEP5 フロアの敷き込み1
- P8 —— フロアの敷き込み2/納まり例
- P9 —— STEP6 スペーサーの取り外し  
STEP7 床の養生/施工完了/  
メンテナンス・補修ガイド
- P10~13 - 置敷き施工-ヘリンボーンの施工方法
- P14 —— お掃除方法・使用上の注意

この度はラミネートフローリングKRONOTEXをご購入いただき、誠にありがとうございます。

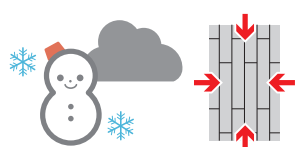
## クリック工法での注意・禁止事項

ラミネートフローリングKRONOTEXは気温や湿度の変化に伴う自然の膨張、収縮に対応できるよう、置き敷き工法(クリック工法)で設置して下さい。置き敷き工法の利点を得るため、また隙間や軋み音が生じないように以下の注意事項をご確認下さい。

注意事項を守って施工しないと、製品の性能低下や不具合が発生する恐れがあります。

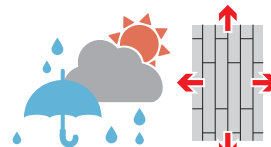
### クリック工法の床は面全体で「伸縮」します

ラミネートフローリングは湿度を吸収したり、放出したりして伸縮を繰り返します。



乾燥している時

← 気候や・地域や・季節によって →



湿度が高い時

本取扱説明書には製品を長く、安心してご使用いただくために重要な内容を記載しています。製品ご使用前に内容をお読みいただき、注意事項を遵守していただきますようお願い申し上げます。また、本取扱説明書は製品の施工、ご使用の上で重要な書類ですので、大切に保管してください。



## 施工チェックシート



STEP-1 部材の寸法を確認

●部材の寸法を把握し、  
割り付けをシミュレーション

P.2~4



STEP-2 下地状況の確認

●下地に不具合(不陸など)が無いか  
入念に確認

P.5



STEP-3 不陸調整シート敷き込み

●不陸調整シートが重ならないよう  
注意して敷き込む

P.5



STEP-4 スペースの設置

●適正なクリアランスを確保

P.6



STEP-5 フロアの敷き込み

●糊、釘を使わずにフロアをはめ込む

P.7



STEP-6 スペースの取り外し

●適正にクリアランスを確保できているか  
再確認してスペースを取り外す

P.9



STEP-7 床の養生

●完成後の状態を保守できるよう、  
入念に養生

P.9



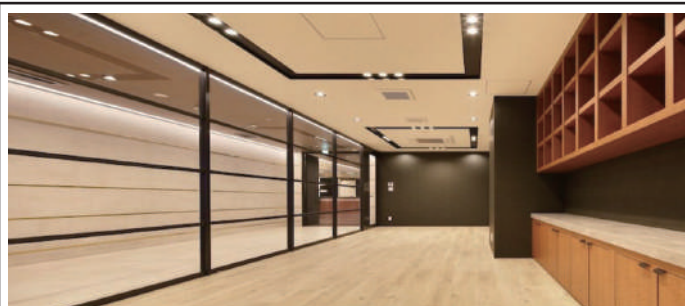
## 施工手順



### STEP-1 部材の寸法を確認

●部材の寸法を把握し、割り付けをシミュレーション

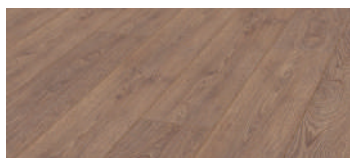
#### フロア本体



### MAMMUT

高級感のある空間を創り出します。その風合いは、本物の天然木のように、ダイナミックな質感が特長。

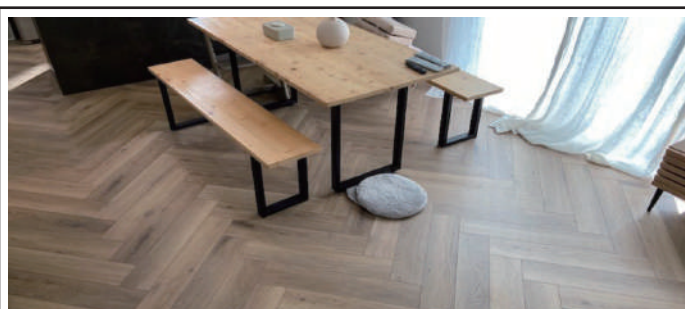
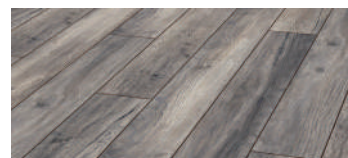
- 厚み / 12mm
- 幅 / 188mm
- 長さ / 1845mm
- 入数 / 4枚/箱
- 面積 / 1.387㎡/箱



### AMAZONE

KRONOTEXフロアの中では幅狭タイプのシリーズ。本物の天然木のような木目の美しさも特長。

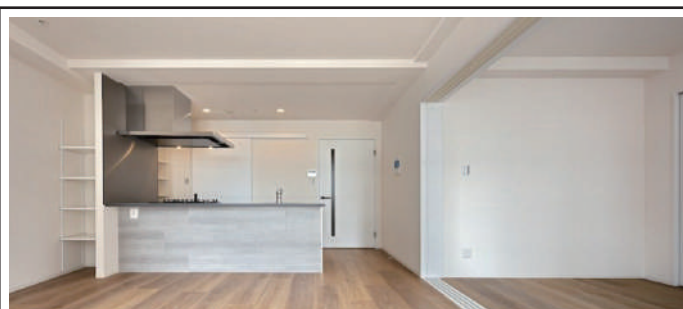
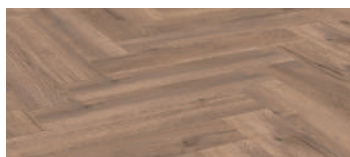
- 厚み / 10mm
- 幅 / 157mm
- 長さ / 1380mm
- 入数 / 6枚/箱
- 面積 / 1.300㎡/箱



### HERRINGBONE

伝統的な欧州の住宅やオペラハウス・劇場のホワイエ等で用いられてきたヘリンボーンフロアを楽しんでいただけるのがこのシリーズ。

- 厚み / 8mm
- 幅 / 133mm
- 長さ / 665mm
- 入数 / 14枚/箱
- 面積 / 1.238㎡/箱



### EXQUISIT

エクイジットシリーズは、住宅・事務所・公共施設など、どこにでもオススメできる床材です。本物の質感、美しさを持ち、もちろん耐久性、耐熱性◎

- 厚み / 8mm
- 幅 / 193mm
- 長さ / 1,380mm
- 入数 / 8枚/箱
- 面積 / 2.131㎡/箱



#### 不陸調整シート

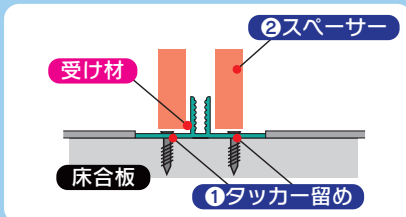
### テュプレックスシート(RC 又は床暖房用)

1,100mm×30m×3mm  
(幅) (長) (厚)

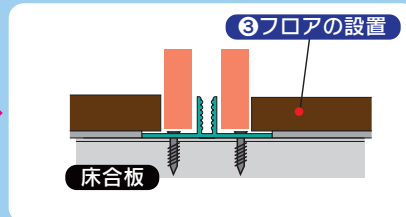


## T型床見切

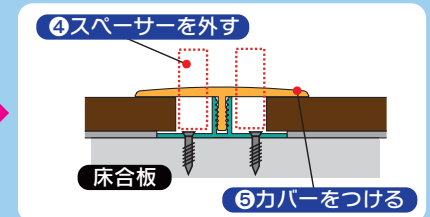
建具の下などで見切りを使う際は【T型床見切】を使用します。



見切りの受け材を留めスペーサーを設置します。

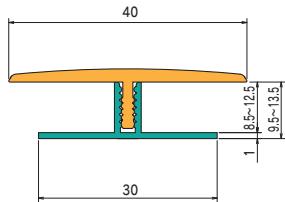
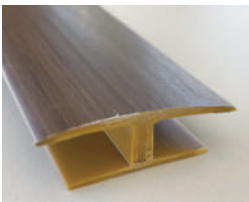


フロアを設置します。

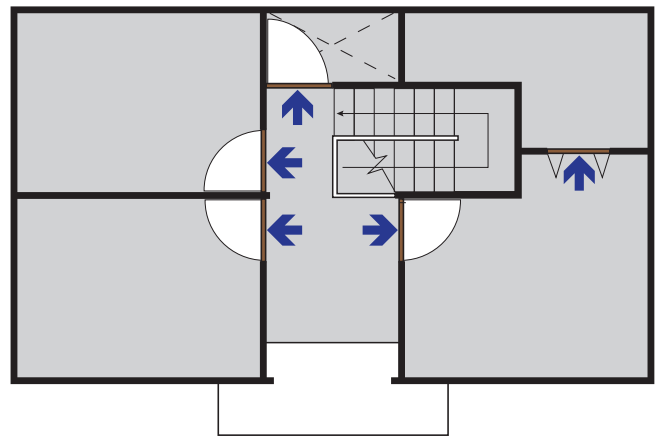


スペーサーを外し、カバーを付けます。

### T型床見切



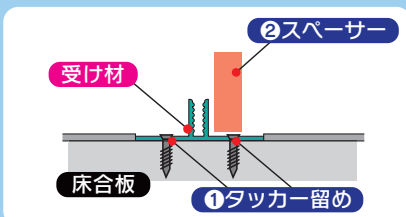
### 【使用例】



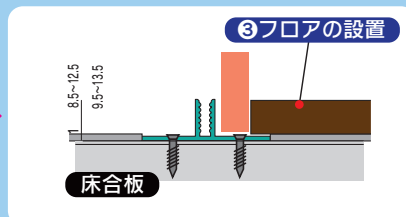
※最大ロングスパンの範囲内でもくびれた個書に見切材を設置することでサネ鳴りや目違い等の不具合を防げます。

## 段差見切

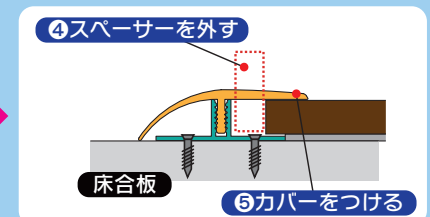
リフォームなどで段差が生じる際は【段差見切】を使用します。



見切りの受け材を留めスペーサーを設置します。



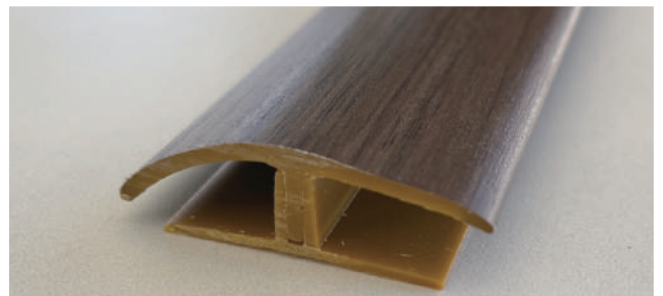
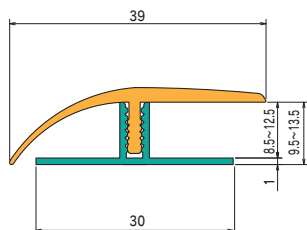
フロアを設置します。



スペーサーを外し、カバーを付けます。

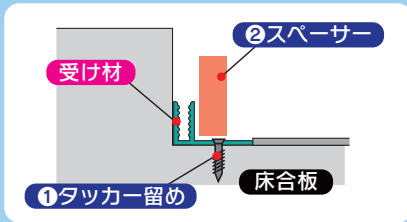
※「スペーサー」にはフロアの端材(8mm厚)をお使いください。

### 段差見切

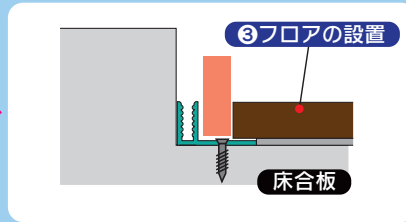


## L型床見切

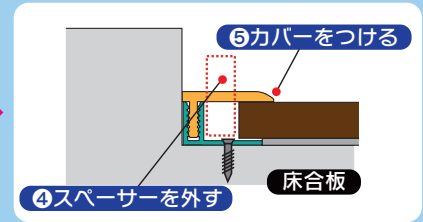
建具の下などで見切りを使う際は【T型床見切】を使用します。



見切りの受け材を留めスペーサーを設置します。



フロアを設置します。



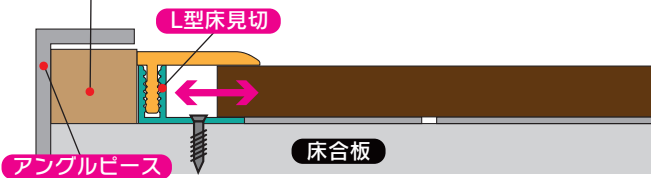
スペーサーを外し、カバーを付けます。

※「スペーサー」にはフロアの端材(8mm厚)をお使いください。

### 掃き出しサッシ(アングルピース)

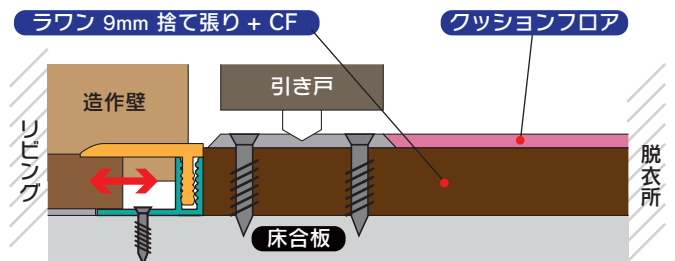


カット合板(現場施工) t=12mm



※カット合板は現場で加工してください。

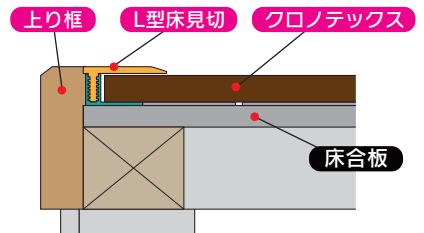
### リビングと脱衣所



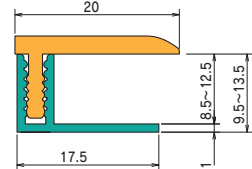
※フラットレールとの取り合いにはL型見切りを 사용합니다。

見切りの受け材を留めスペーサーを設置します。

### 他社の上り框を使用する場合



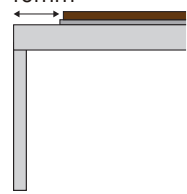
### L型見切



## 上り框

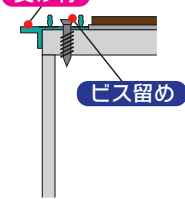
玄関には樹脂製の【上り框】を使用します。(※当製品を使用しない納まりもございます) その他の「見切」とは異なり、受け材は「ビス」で留め付けてください。

40mm

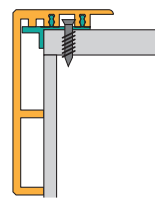


角から40mm確保

受け材

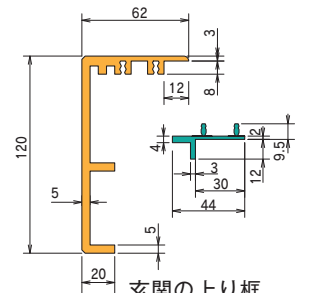


受け材をビス留め



カバーを付けます

### 上り框



玄関の上り框として使用します。

※上り框以外の見切材の受け材はカッター以外にも両面テープやボンドで固定することが可能です。

※見切材の受け材はABS樹脂製です。両面テープやボンドで固定する際は下地と受け材の材料にあった製品をご使用下さい。

## STEP-2 下地状況の確認

●下地に不具合(不陸など)が無いか入念に確認

1 下地の厚みは**9mm以上**ありますか?   
※スラブ以外の下地には必ず9mm以上の合板を施工してください。根太の上に直接フロアは施工できません。

2 下地が**乾燥**していますか?   
※未乾燥の下地に施工すると、フロアにカビや反りが発生する恐れがあります。

3 下地に**不陸**は無いですか?   
※1mに対して±1.5mm以下の不陸であれば問題ありません。畳の上やカーペットの上の施工は避けてください。ただし、一部の商品に限り毛足の短いカーペットやスタイロタミなどの上から施工できます。特殊な環境下で施工される場合は、ご使用用途をメーカーにお問い合わせください。

4 下地から**釘頭**は出ていませんか?   
※釘頭等が突出していないか確認し、是正した上で施工してください。

5 下地の掃除は終わりましたか?   
※スラブ以外の下地には必ず12mm以上の合板を施工してください。根太の上に直接フロアは施工できません。

全て問題が無ければ次頁へ

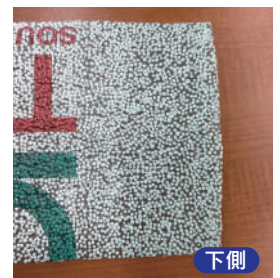
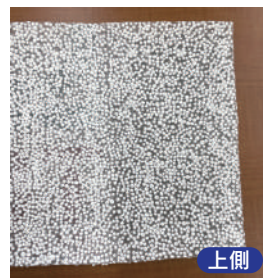
## STEP-3 不陸調整シート敷き込み

●不陸調整シートが重ならないよう注意して敷き込む

シートは下地に応じた製品を敷いてください。

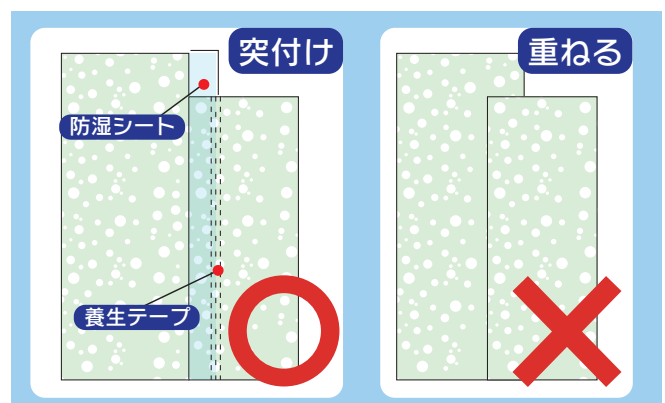
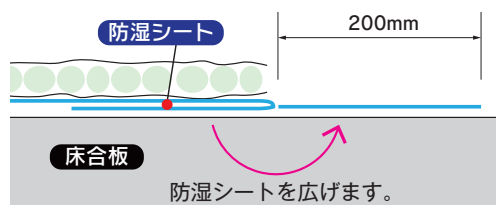
### RCスラブ/床暖房

シートの裏表はシートをそのまま転がして敷けば裏表が合うようになっています。

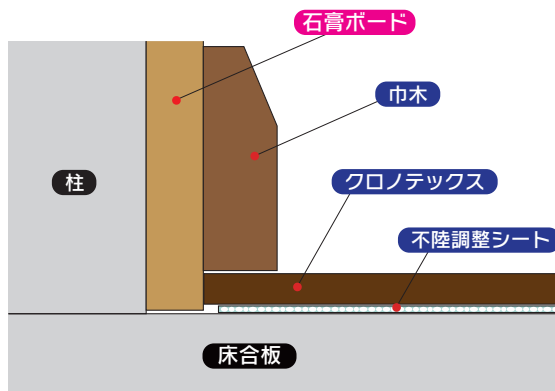


### テュプレックスシート施工の場合

テュプレックスシートの長辺側には透明の防湿シートが折りたたまれています。スラブから湿気が上がりますので必ず防湿シートを重ねて養生テープでしっかりと繋ぎ合わせてください。コンクリートスラブ直の場合以外は防湿シートを重ねる必要はありません。



## 基本的な納まり



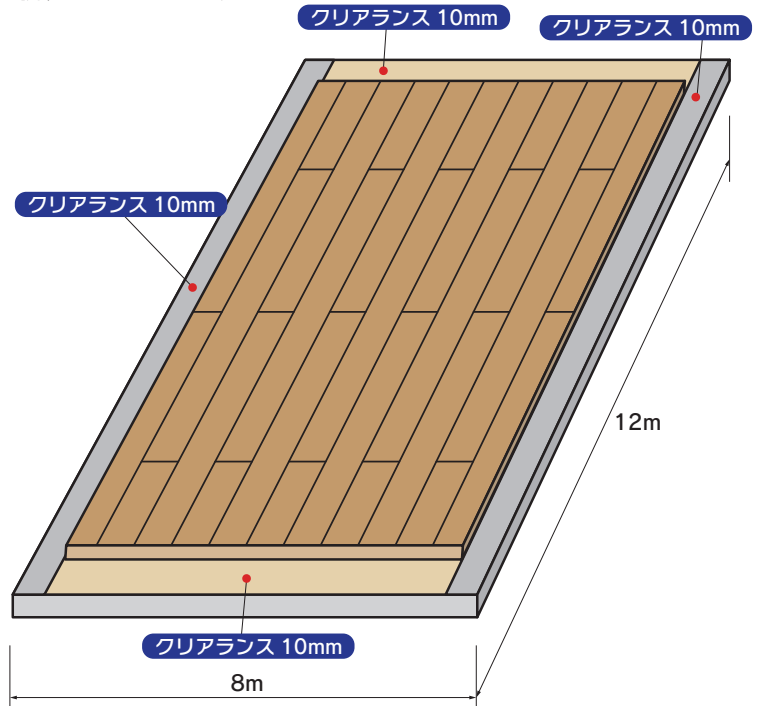
基準はこちら。9mm以上のスペーサーが必要です。



スペーサーの設置間隔は400mm~500mmです。

※現場の端材をスペーサー(9mm以上)代わりにお使いいただいても問題ございません。

例)8 x 12mの場合



フロア材は玄関ホールや廊下などの狭小部での設置の場合、クリアランスを確保しすぎると、片側にずれて隙間が生じることがあります。ご注意ください。

### 【クリアランスについて】

- ◆本製品は木質系のフロアである為、加工した後も室内の温湿度環境に応じ、伸縮が発生いたします。
- ◆その為、すべての方向に『クリアランス』(調整幅)が必要です。適切にクリアランスを確保しない場合、フロアの浮き、突き上げ、床鳴りといった不具合の原因になります。
- ◆クリアランス確保の際に仮釘などを使用した場合は、施工後に必ず取り外してください。
- ◆配管の周囲は配管形状に合わせたクリアランスを確保してください。配管周囲は結露などにより、基材に悪影響を及ぼす可能性がある為、切断面にはシーラー処理を施してください。

### 【フロアの固定について】

- ◆本製品は木質系のフロアである為、加工した後も室内の温湿度環境に応じ、伸縮が発生いたします。
- ◆フロアに直接ビスや釘を打つとフロアの伸縮を妨げ、フロアの浮き、突き上げ、床鳴り、目隙と言った不具合の原因になります。
- ◆ビスで器具などを固定する場合はビス径より2~3mm大きな下穴を空けてからビスで固定して下さい。間仕切り壁や、造作家具等の重量物を同様の方法で施工すると伸縮を妨げ、不具合の発生原因となる場合があります。

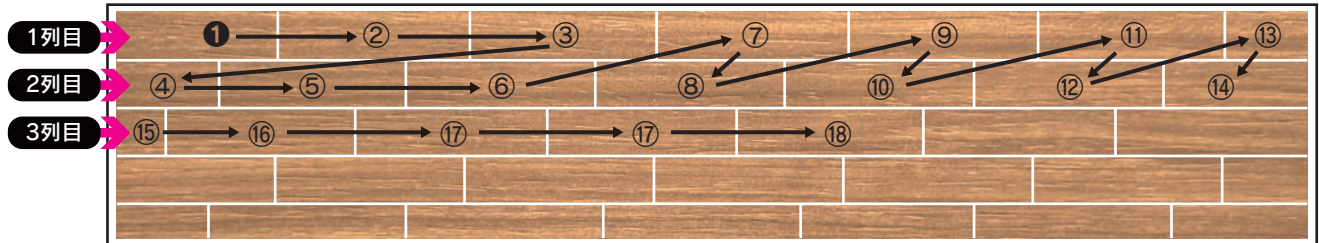
## STEP-5 フロアの敷き込み

●糊、釘を使わずにフロアをはめ込む

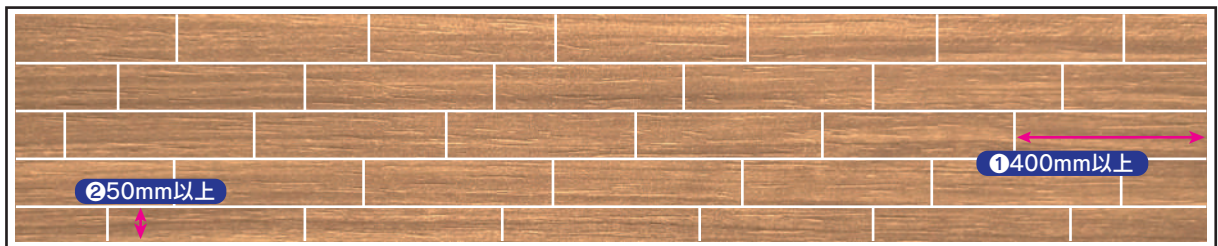
※当製品はクリック工法（置き敷き施工）の床材です。  
糊や釘は使用しないでください。



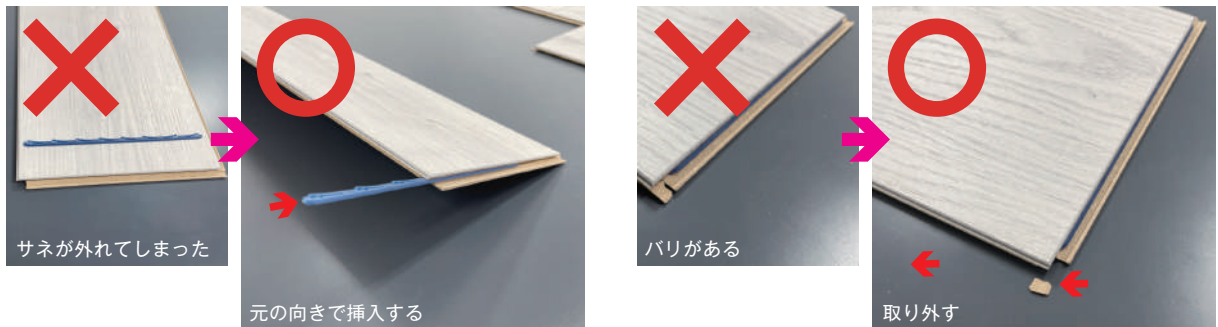
1 部屋の左端を貼り始めとし、1列目、2列目は互い違いに貼ってください。



2 以下①・②の寸法を必ず確保してください。



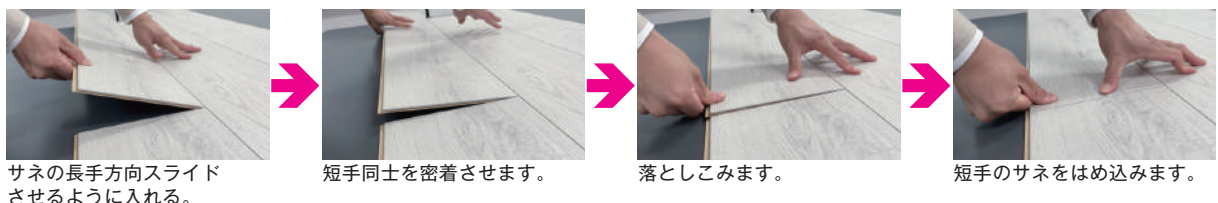
3 必ずフロアの状況（サネの外れはないか？バリが無いか？）をチェックしながら施工してください。



異常が無いか？を確認し施工してください。

※短辺のバリや、プラスチックサネが欠損した状態や、施工すると、不具合の原因となります。

4 はめ込みは以下の要領で行ってください。



※ゴムハンマーでフロアを寄せたり、短辺のサネをはめ込む際は、サネ付近を叩かないように注意して下さい。強く叩きすぎると、サネが破損して目違いや、床鳴り等の原因となります。



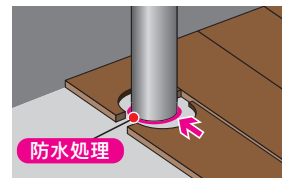
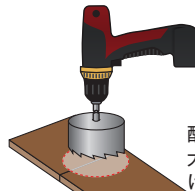
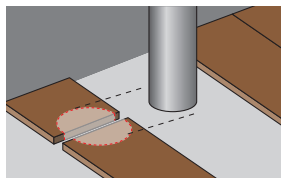
# 5

1度貼ったフロアの取り外しは、以下の要領で行ってください。



# 6

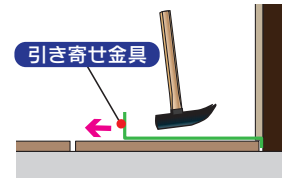
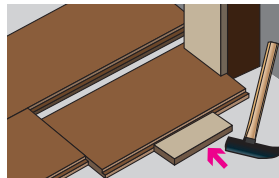
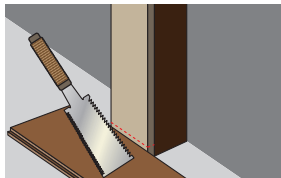
配管周りの処理は以下の要領で施工します。



フロアをはめ込んだら、木口に防水処理を施します。

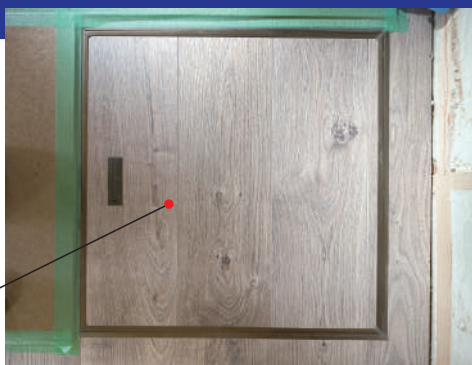
# 7

建具枠や柱が先付けされている場合は以下の要領で施工してください。



## 納まり例

### 床下収納庫



#### ■点検口の蓋は『ベニヤ + クロノテックス』

- ※1:クッションシートは不要です。
- ※2:蓋に取り付けるフローリングは釘打ちが可能です。
- ※3:点検口の「受け」は、現行通りの納まりで差し支えございません。

### 腰壁や間仕切壁

#### ■腰壁や間仕切壁

- ※腰壁や間仕切壁は、壁先行での納まりです。
- ※キッチンの配管位置にはフロアを離して施工してください。

### キッチン設置



#### ■キッチンを設置する場合

- ※キッチンや、パネルを床に固定する際はビス径より2mmから3mm程度大きな下穴をフロアに空け、下地に固定してください。
- ※ビスの絞めつけ過ぎに注意して施工してください。

### フロア用吸気ガラリ/フロアコンセント



- ※つばの大きな商品を選定してください。
- ※つば下でクリアランスを確保してください。
- ※ビスの絞めつけ過ぎにご注意ください。
- ※接着剤やテープでフロアの伸縮を妨げないようにしてください。

### トイレ床



#### ■トイレの床で使用する場合

- ※床との取り合いに生じる隙間は必ずコーキング(耐水)で処理してください。

## STEP-6 スペースの取り外し

●適正にクリアランスを確保できているか再確認してスペーサーを取り外す



部屋の一边の長さ	クリアランス
8~12m未満	片側10mm以上
12m以上	T型見切り材で縁を切る

壁際のスペーサーを取り外します。この際、各所で適正なクリアランスを確保できているか、今一度ご確認ください。

## STEP-7 床の養生

●完成後の状態を保守できるよう、入念に養生

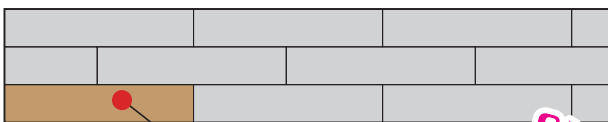


クロノテックスは極めて優れた耐久性を持つ製品ですが、「傷」や「ヘコミ」を完全に防げるわけではございません。施工後のトラブルを防止する為に、養生は確実に行ってください。



## メンテナンス・補修ガイド

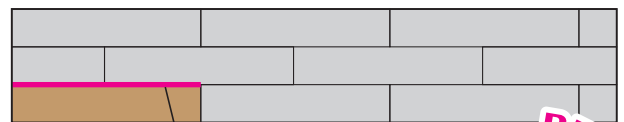
### フロアが浮いてしまった



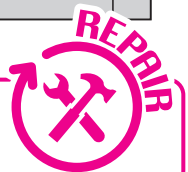
- ①クリアランスは不足していませんか？
  - ②糊や釘で留め付けていませんか？
- 「浮き」は伸縮が阻害されたことで発生するケースが非常に多い為、上記2点の再確認をお願いいたします。



### サネ部分から床鳴りがする



※「ビキビキ」「バキバキ」という音の場合はサネのはめ込み不足などの原因がある場合が多いです。



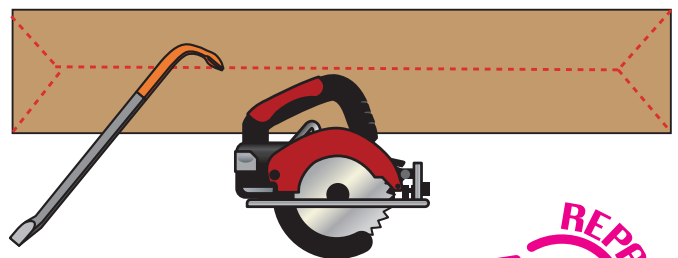
### 隙間が空いてきてしまった



吸盤や両面テープを付けた端材を設置し、軽く踏みながらゴムハンマーで叩き、引き寄せます。



### 以上で直らなかった場合の部分張り替え



上図のように切り込みを入れ、バールなどで外します。サネ部分にだけボンドを塗って新しいフロアを貼ってください。



### 目違いが起きてしまった

上記の「隙間が空いてしまった場合の方法と逆手順でサネのジョイント部に隙間を空け、空いた隙間に接着剤を入れ、引き寄せます。引き寄せ後は再び目違いが生じないように接着剤が固まるまで抑えて下さい。

# 置敷施工

## ヘリンボーン of 施工方法

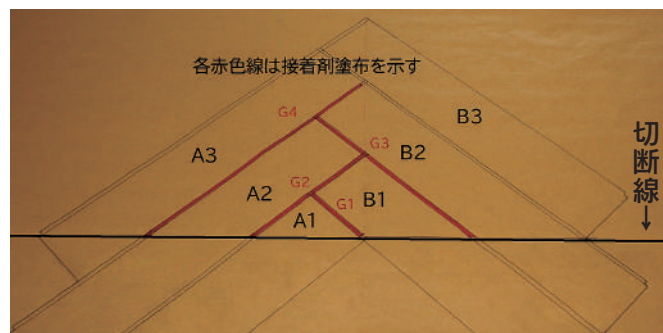
※下地には絶対に接着しないでください

### ヘリンボーン of A材とB材の画像

KRONOTEX HERRING BONE シリーズは梱包の中にA材とB材が入っています。本体の裏面を確認してください。



貼りはじめの三角形は高い精度が要求されます。  
また切断する床材のサネには接着剤を塗布して勘合力を補強してください。(実寸大の下絵でA材とB材の割付をお勧めいたします。)



〈勘合と接着剤塗布の手順は下記となります。〉

A1,G1,B1,G2,A2,G3,B2,G4,A3,B3,切断線、切断(B3は切断線を決めるための床材、接着剤の塗布は必要ありません)

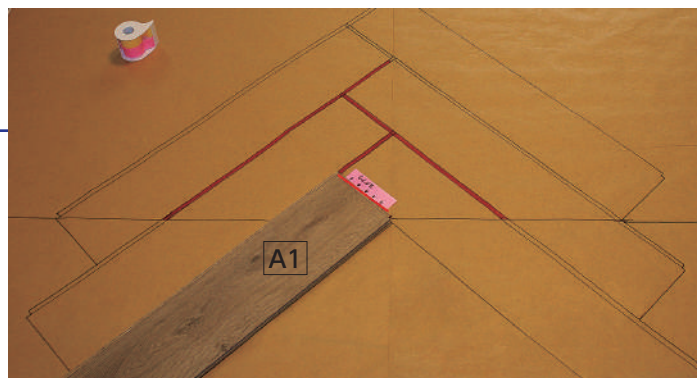
### 作成手順

1 A1材を型紙の上に置き、  
A1材短辺下端のサネに接着剤を塗布する。

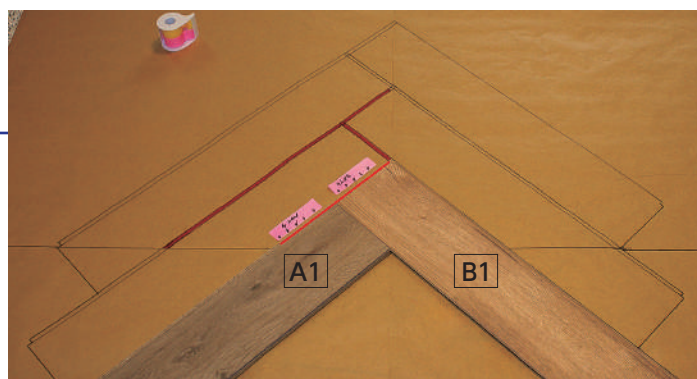
※下地には絶対に接着しないでください

**注意**

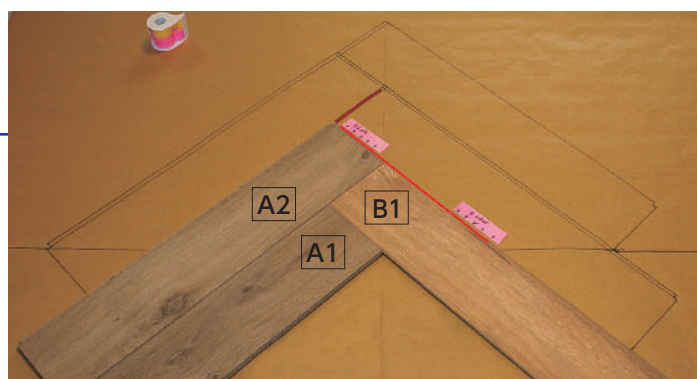
接着剤は木工ボンドなど。塗り過ぎにご注意ください。



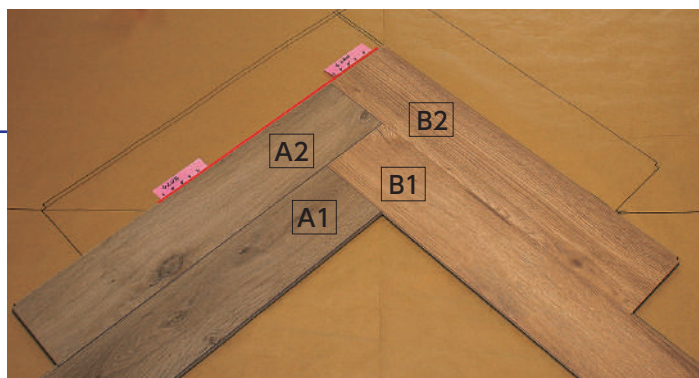
2 B1材をA1材に勘合。(サネへ接着剤を塗布)



3 A2材を勘合。(サネへ接着剤を塗布)



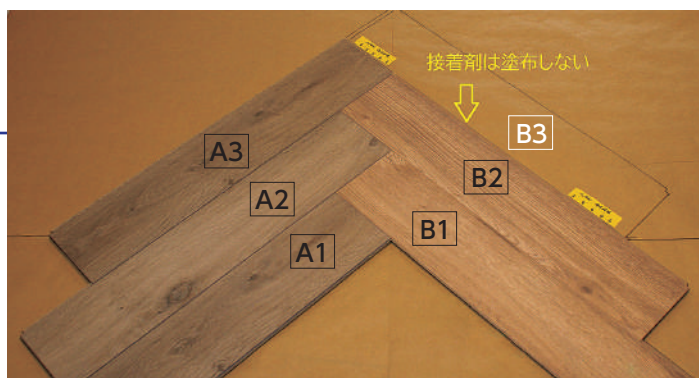
## 4 B材を勘合。(サネへ接着剤を塗布)



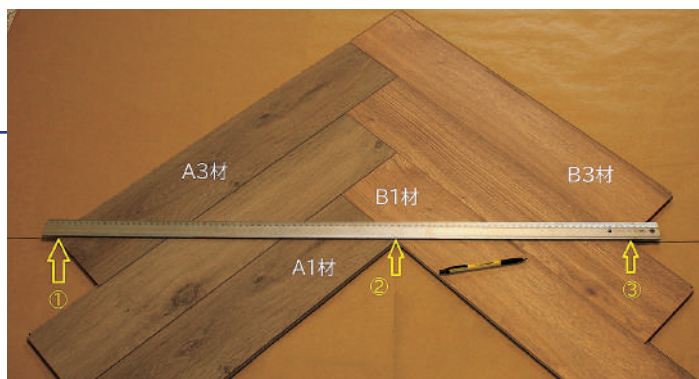
## 5 A3材を勘合する

**注意**

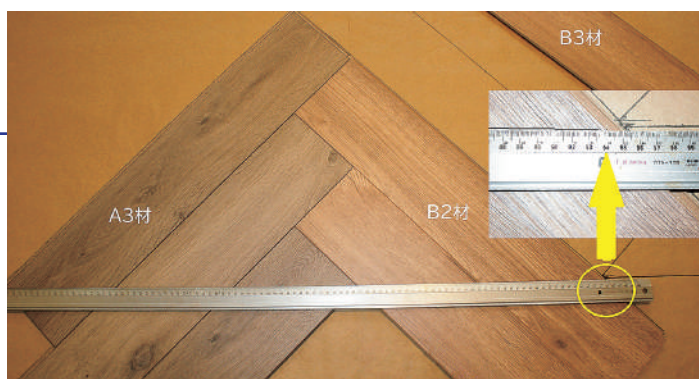
次のB3材勘合では接着剤は必要ありません。



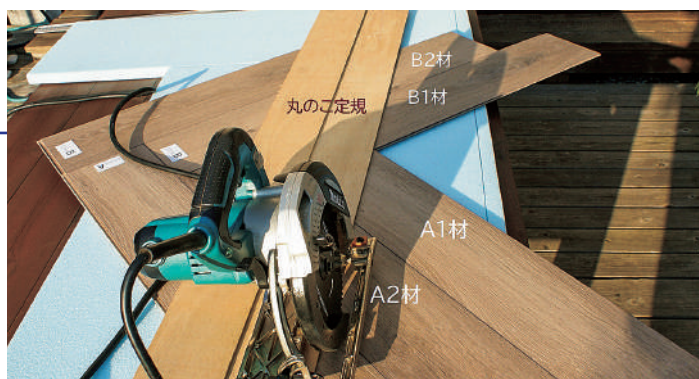
## 6 切断線を引く。 (図の矢印3点を結ぶ線を切断線とする)



## 7 切断線の長さが940mmであるかを確認する (精度:940mm ± 1mm)



## 8 切断線に定規をあてて、切断する。



- 1 作成した直角二等辺三角形の角が接するように床に並べる。スペーサーで壁と床材の間隙を確保する。

**注意**

10mm以上のクリアランスを確保してください。



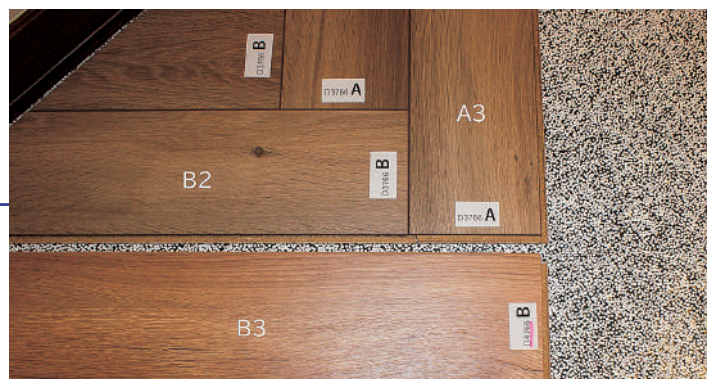
- 2 隣接する貼り始め用三角形をB材で勘合。置き式施工では、接着剤の使用は不可、釘などで固定することも不可。



- 3 A材で前列のA材とB材を勘合する。A材が壁際で長さ切断した材であれば、前列のA材とB材のサネに接着剤を塗布する。



- 4 次(左側)の貼り始め三角形をB材で勘合する。この時、B材が壁際材で壁に合わせて切断した場合は、前列のA材とB材のサネに接着剤を塗布してから勘合する。



- 5 前列のA材とB材をA材で勘合する。以降、右側からB材とA材の順に勘合を繰り返す。壁際や貼り終いの材で切断した材は、前列のサネに接着材を塗布して勘合する。接着剤の塗り過ぎにご注意ください。



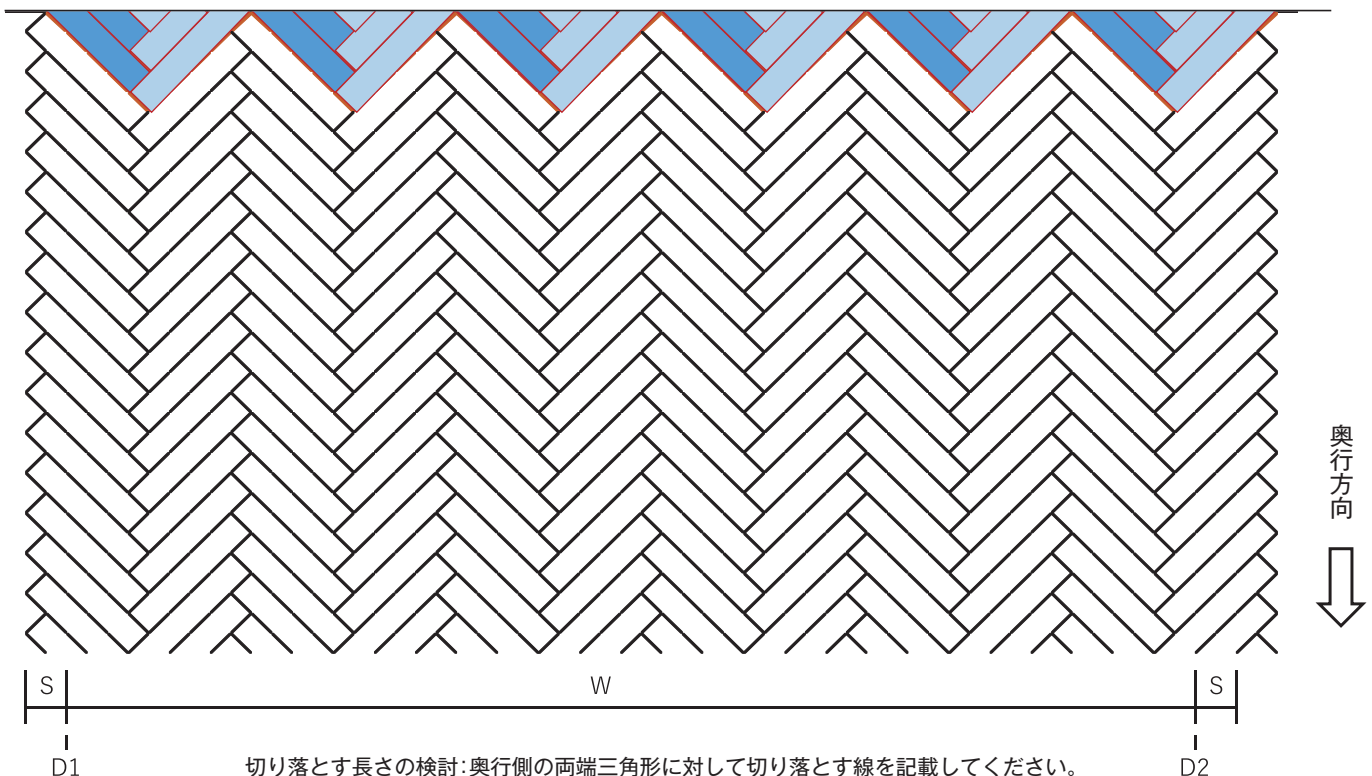
## クロノテックス ヘリンボーンの施工手順

- 1 貼り始め床長さ(幅)を測定  
 $(\text{施工幅}W) = (\text{全幅}W0) - (\text{壁際の間隙}S) \times 2$
- 2 貼り始め「直角2等辺三角形」の作成数Nを算出する  
 $(\text{作成数}N) = (\text{施工幅}W) \div 940 + 1$  (または2)
- 3 施工幅Wのおさまりを計算して奥行壁側のそれぞれの三角形を切り落とす  
 $(\text{切り落とす合計長さ}D) = (\text{施工幅}W) - (\text{三角形作成数}) \times 940$

### 上記の施工手順による測定結果と計算結果

(最大施工面積) 幅方向最大8メートル、奥行方向最大12メートル

W0(全幅)	S(壁際の間隙)	W0 <input style="width: 50px;" type="text"/>	S <input style="width: 50px;" type="text"/>
W(施工幅)	$W0 - S \times 2$		W <input style="width: 50px;" type="text"/>
N(作成する貼り始め三角形の数) = $W \div 940 + 1$			N <input style="width: 50px;" type="text"/>
D(三角形の切り落とす合計長さ) = $W - N \times 940$			D <input style="width: 50px;" type="text"/>
		D1 <input style="width: 50px;" type="text"/>	D2 <input style="width: 50px;" type="text"/>



## お掃除方法

- ほうきや掃除機などでフローリング表面のゴミを取り除いてください。
- 日々のお掃除はフローリング用のウェットティッシュで行います。
- 稀に頑固な汚れが付いた場合は、まず固く絞った雑巾で拭き取ってみてください。それでも汚れが落ちない場合は、アルコール(無水エタノール)を吹きかけてそれでも汚れが落ちない場合は、メーカーにお問合せください。



## 使用上の注意

- KRONOTEXフローリングは基本メンテナンスフリーです。
- ワックスについて  
※基本ワックス不要です。艶をつけたいなど、お施主様判断でワックスを施工する場合のみ下記ご注意ください。  
KRONOTEXの面材には静電気防止機能がついており、ワックスをかける事により性能を発揮できない事がございますので、ご注意ください。ワックスをかける際は、水分量の少ないワックスまたは少量ずつ伸ばすように施工してください。
- 水にご注意ください。  
KRONOTEXの芯材はHDF(高密度繊維板)を使用しており、実が水に長時間浸かると不具合の原因となります。面材は問題ございませんが、実に水が長時間浸からないよう早めに拭き取ってください。お掃除の際は水分にご注意いただき、適度な水分量でお願いいたします。  
(ウェットティッシュ程の水分量で十分綺麗になります。)
- 補修について  
KRONOTEXの面材は非常に強く、土足歩行も可能なフローリングです。しかし、面材の強度にも限界がございます。尖った金属や重量物、金属製の家具を引きずったりすると傷の原因になります。面材の割れ、傷ができた場合はご相談ください。

# KRONOTEX

## FLOORS FOR LIVING

クロノテックスジャパン株式会社

〒381-0024 長野県長野市南長池280番8  
TEL.026-267-0311 FAX.026-267-0312

ラミネートフローリングクロノテックス施工方法をYouTubeにて詳細動画配信中!



kronotv

@kronotv

<https://youtu.be/6VWfqIAc71s>



<https://kronotex.jp>